

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 28 日(2022.9.28)

【公開番号】特開 2021-113234(P2021-113234A)

【公開日】令和 3 年 8 月 5 日(2021.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2021-035

【出願番号】特願 2021-80880(P2021-80880)

【国際特許分類】

C 0 7 C 2/86(2006.01)

C 0 7 C 13/04(2006.01)

C 0 7 B 61/00(2006.01)

10

【F I】

C 0 7 C 2/86

C 0 7 C 13/04

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 16 日(2022.9.16)

【誤訳訂正 1】

20

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

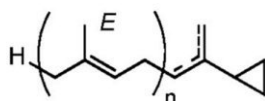
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基質上の炭素 - 炭素二重結合をシクロプロパン環に変換するプロセスを通して式

【化 1】



30

式中、 $n = 0、1、2$  または  $3、$  の化合物を形成する方法

であって、方法が、基質を N - アルキル - N - ニトロソ化合物、遷移金属触媒および水性塩基で処理する工程を含み、ここで、N - アルキル - N - ニトロソ化合物を、一塩基または二塩基酸またはそれらの混合物の存在下で、アルキルアミンをアルカリ金属亜硝酸塩と反応させことにより形成し、ここで、N - アルキル - N - ニトロソ化合物を、基質、触媒および塩基と混合する前に、蒸留しない、

ここで、酸は

40

a) ギ酸、乳酸、またはグリコール酸、または、

b) カルボン酸の混合物、またはカルボン酸と無機酸との混合物、または一塩基無機酸と二塩基無機酸との混合物である、

前記方法。

【請求項 2】

酸が、一または二塩基カルボン酸、および前記カルボン酸よりも低い  $pK_a$  を有する有機または無機酸の混合物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

酸が、酢酸および硫酸の混合物である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

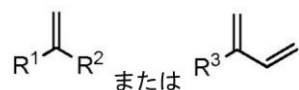
50

N - アルキル - N - ニトロソ化合物が N - ニトロソ - - メチルアミノイソブチルメチルケトンである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

基質が、一般式

【化 2】



式中、 $\text{R}^1$  および  $\text{R}^2$  は、独立して、H、分枝状または非分枝状であり、置換または非置換である、アルキル、またはアリールを表すことができ； $\text{R}^3$  は、分枝状または非分枝状であり得、置換または非置換であり得る、アルキル、またはアリールであり得る、で表される化合物である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

10

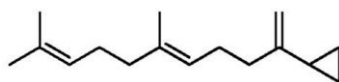
【請求項 6】

基質がイソプレノイドである、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

式

【化 3】



20

の化合物を形成する、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

基質が、アルファファルネセンまたはベータファルネセンである、請求項 6 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

30

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

以下の表は、異なるカルボン酸を使用するこの手順の変形からの結果を示す：

40

50

【表 1】

ラン	酸	酸濃度	モル当量 酸 ／メシチルオ キシド	NO <sub>x</sub> ガスの形 成 <sup>b</sup>	純度 <sup>a</sup>	収率 <sup>c</sup>
比較	リン酸	H <sub>2</sub> O 中 75%	0.9	わずか	77%	73%
1	ギ酸	純粋	1.75	弱い	72%	68%
2	酢酸	純粋	1.75	わずか	69%	66%
3	酢酸	純粋	1.6	わずか	70%	62%
4	α-ヒドロキ シーイソ酪酸	H <sub>2</sub> O 中 75%	1.75	中間	59%	38%
5	乳酸	純粋	1.75	わずか	71%	62%
6	グリコール酸	純粋	1.75	わずか	74%	61%

10

20

30

40

50